

鉄製 燃料タンク — 初代 Honda ACCORD



ヤチヨは1977年8月から、燃料タンク（鉄製）の量産を開始。

初めての完成車への採用として、初代アコードに搭載されました。

項目	仕様
エンジン	CVCC水冷 4 サイクル 直列 4 気筒OHC
排気量	1.599 L
タンク容量	50 L



樹脂製燃料タンク — 初代 Honda INSIGHT



ヤチヨは1999年11月、日本で初めて4種6層の樹脂製燃料タンクを量産。

初代インサイトに搭載されました。

樹脂製のメリット

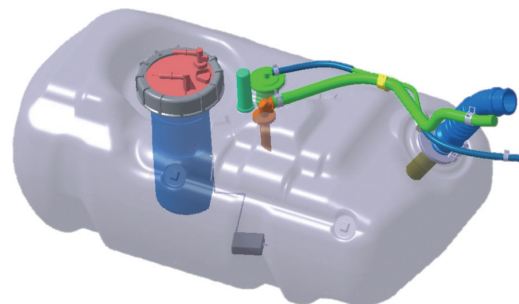
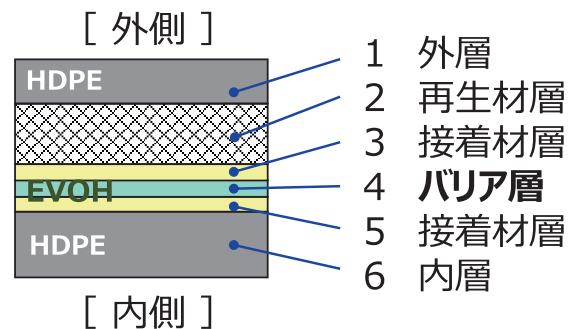
形状自由度の向上

さびない

軽量

※燃料透過※に対してはバリア層で対応

燃料タンクや燃料供給系部品の内部で揮発したガソリンが、樹脂の組織を通過し、外部へ微小に漏れ出る現象



環境規制をクリアする独自技術 BFS — Honda ODYSSEY

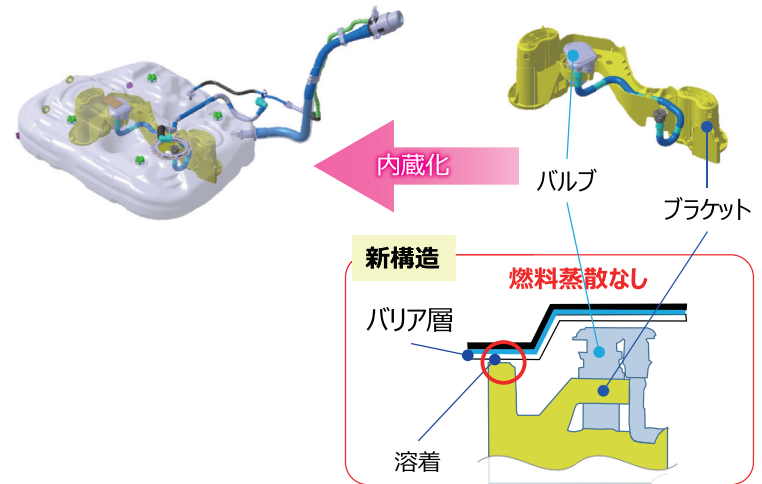
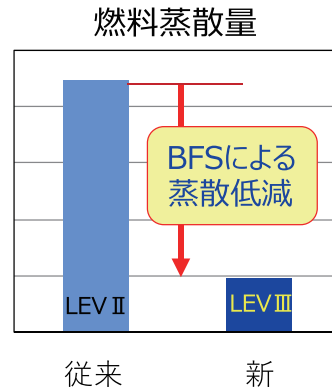
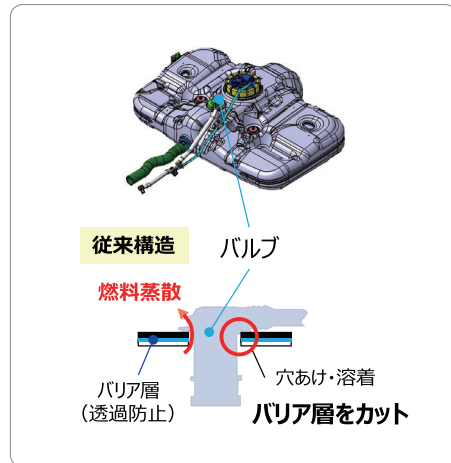
BFS : Built-in Fuel tank System



ODYSSEY (北米仕様)

ヤチヨは、バルブ取り付けにおいて、タンク内面から溶着することで穴あけを低減し、燃料蒸散を低減する機能部品内蔵技術を完成。

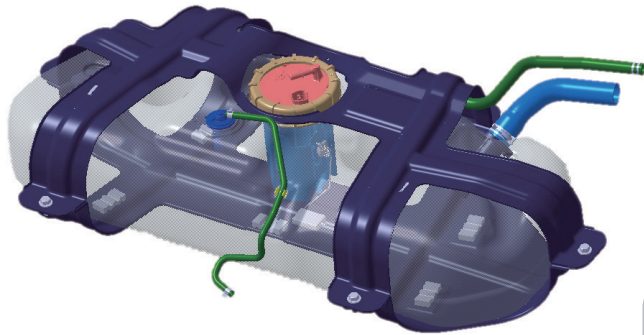
2017年4月量産開始の北米オデッセイから採用されています。



高圧密閉 樹脂製 燃料タンク — PHEV向け開発品

参考出品

PHEV : Plug-in Hybrid Electric Vehicle



ヤチヨは、クルマの電動化の加速に伴うPHEVの拡大を見据え、PHEV向けの樹脂製燃料タンクの開発に力を入れています。

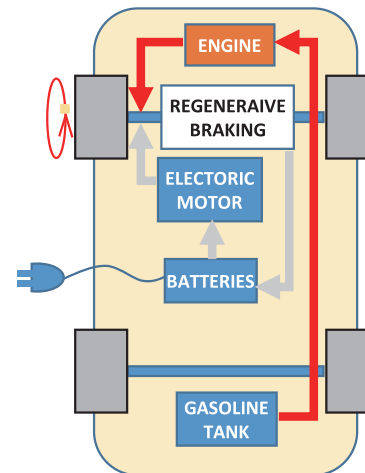
バッテリー走行時は**エンジン停止**

↓
気化したガソリンが
燃料タンクに閉じ込められる

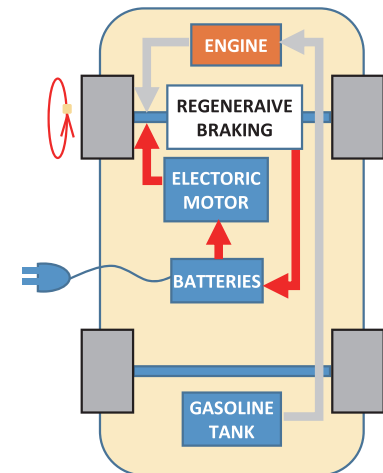
↓
燃料タンク内圧が上昇

↓
耐圧性などの強化が必要

PHEVの駆動



エンジン駆動時



モーター駆動時

FCV用水素タンク

参考出品

ヤチヨは、自動車用の樹脂製燃料タンクで培ってきた技術やノウハウを活かし、多様なエネルギー源を貯蔵する装置を製造する「エネルギーストレージメーカー」を目指しています。

この取り組みのなかで、水素ステーション用蓄圧器やFCV用水素タンクの開発を進め、水素社会の実現に貢献していきます。



樹脂製燃料タンク
(ガソリン／軽油)



水素ステーション用
蓄圧器

FCV用水素タンク
Hydrogen storage



FCV: Fuel Cell Vehicle = 燃料電池車

水素ステーション用蓄圧器は、国立研究開発法人
新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
の共同研究業務の成果を活用しています。

